

公明党 池上 茂樹 議員

施政方針について

(質問) 西部地区には音楽や芸術活動をする文化施設が少ない。ピアノや楽器演奏、合唱活動等に対応する施設は、市の東部寄りに集中している。4月公表予定の新都市マスタープランの土地利用方針で、岸田町の農村環境改善センター周辺を「農業共生ゾーンを活かしつつ、スポーツ・文化施設等の整備により交流機能を強化す

る」と位置付けている。今後、この農村環境改善センターの改修に合わせ、西部地域の文化活動の拠点施設として整備してはどうか。

(答弁) 現在、策定中の都市マスタープランにおいては、農村環境改善センター周辺をスポーツ・レクリエーションエリアに位置付け、広域交流の促進や農業、スポーツ、文化の融合を図るため、既存施設を生かした施設整備を推進することを考えている。今後、農村環境改善センターの改修の際には、文化活動が可能となる場としての整備を検討する。

日本共産党 森川ヤスエ 議員

施政方針と28年度予算について

(質問) 女性の活躍を保障する社会のために、乳幼児医療費の窓口無料化について、3歳までという年齢制限をなくしてはどうか。また、就学援助制度の充実も必要と考えるがどうか。

(答弁) 子ども医療費助成の拡充について、昼夜を問わず医療機関を受診する機会の多い0歳から3歳までの乳幼児の現物給付を平成29年4

月診療分からの実施を目指して取り組みを進めている。

また、就学援助制度は文部科学省からの通達にある「要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助費に係る事務処理要領について」に基づき運用しており、市町村教育委員会は新年度の4月に、学校からの就学援助費の請求に基づき支給を開始する。学用品費、校外活動費、学校給食費などの就学援助費も含めて、1学期分は7月に支給し、1年間で3回、学期ごとに支給している。

市民クラブ 大西 克美 議員

施政方針について

(質問) プライマリーバランス（基礎的財政収支）についての考えと、白江区画整理集合保留地の活用方法について問う。

(答弁) 市民サービスの低下を招かないためにも、財政調整基金を活用しつつ収支の均衡を図り、予算編成を行った。コスト意識をもって歳出の節減と歳入の確保に努め、プライマリーバ

ランスを黒字化し、財政調整基金を少しでも多く確保できるように財政運営を行う。また、白江区画整理集合保留地の活用方法については、「白江保留地土地利用庁内検討会」において「交流とにぎわい」が図れる福祉関連施設を中心とした複合施設の建設について議論を重ねている。費用対効果を上げつつ、鈴鹿ならではの「交流とにぎわい」を発信し、本市をさらに活性化し、新しい交流拠点として機能させるため、今後も検討を重ね、建設の目途がついた時点で、鈴鹿市総合計画2023への登載を検討していく。

